



# もくれんだより おちうと

株式会社 もくれん 〒693-0052 出雲市松寄下町 1286-1 Tel (0853)25-7230 Fax (0853)25-7231

株式会社もくれん  
広報誌 第6号  
2020.01.01発刊



URL:izumo-mokuren.com E-mail:mokuren@honey.ocn.ne.jp

新年明けましておめでとうございます。2020年は MG 研修でお待ちしています。



2020年

社外向けのMG研修を定期開催致します。

詳しくは本社事務局まで直接お問い合わせ下さいませ。

## (Management Game) マネージメントゲームとは?

ビジネスゲームの一つ。昭和51年に西順一郎氏がソニーCDIで開発。経営教育の手法。チームで行なうのではなく、「1人経営」型をとる。ゲームに思想と科学と作者の企業体験を盛り込むことで、受講者は、企業の大ワク、利益の構造、活きた経営学、活きた会計学を身につけることができる。知識教育でなく、能力の涵養を主眼とするため、「理入」(知識教育)でなく、「行入」(体験学習)を基本とする。

西研究所 : <http://www.nishiken.jp/>

皆さん、新年明けましておめでとうございます。  
旧年中は職員一同大変にお世話になり、誠にあり

がとうございました。  
昨年は、弊社十周年の祝賀会が開催されると共に、  
平成が終わり令和が始まるという記念すべき一年と  
なりました。

また私事ではございますが、私上田が「マネージメントゲーム(MG)」の西研公式インストラクター資格を  
取得し、国内外様々なところで研修会に携わる機会  
が増えました。

その中で、「先ずは足元から」と弊社社員を対象に  
社内MG研修会を開催し、社員の研鑽の機会を増や  
し、地域のための企業として益々成長していくよう  
日々取り組んでいます。

その一方で、今年から新たに出雲地域においても地  
域の皆さんと共に自己研鑽が出来ればと思い、社外  
向けのMG研修会を弊社で計画、運営、実施する運び  
となりました。

十年先、二十年先のご自分の企業や法人、そして地  
域の姿をイメージして頂き、皆さんと一緒に学び合う  
ことが出来る日を楽しみにしております。ご参加、心  
よりお待ちしております。

本年もどうぞよろしくお願いします。

2020年 元旦

株式会社もくれん

代表取締役 上田 英範



今年も色々な所へお出掛けしました



久しぶりに釣りに出かけました



料亭で敬老のお祝い。おめでとうございます



いつも教えて下さりありがとうございます



今年も皆さんに沢山ご活躍して頂きました



今年の遠足は鳥取県「花回廊」でした

## 新年明けましておめでとうございます。

開業以来、デイサービスもくれんで大切にしていることが二点あります。

まず一点目は「近所の家に遊びに行く感覚で来てもらいたい」という思いで、アットホームな雰囲気を大切にしています。「デイサービスに行きます」といった、かしこまった感じではなく、「ちょっともくれんにお茶飲みに出かけてみるかな」といった気軽な感じでお出掛けして頂ければ…と願っています。

そしてもう一点は「日課は設けない」ということです。「今日は～しなければならない」といった、始めから決まっている活動はもくれんにはございません。その日にお出掛け下さった皆さんと「今日は一日どのように過ごされますか」と相談しながらその日の予定を考えます。その結果として、春はお花見、夏は山や海、秋は紅葉、冬はドライブなど色々な所へお出掛けすることも多くあります。皆さんお出掛けは特に喜ばれますからね。

これからも皆さんに末長くお元気に、ご自分らしく暮らして頂くためにも、職員一同たゆまない努力をして参りたいと思います。本年もどうぞ「デイサービスもくれん」をよろしくお願い申し上げます。

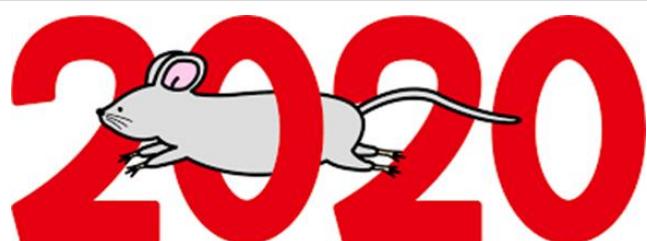
2020年 元旦

デイサービスもくれん 本店

管理者 岡 健・職員一同

デイサービスもくれん 荒茅

管理者 上田 文愛・職員一同



# グループホームもくれん (認知症対応型共同生活介護事業所) TEL 43-8522

皆さん新年明けましておめでとうございます。  
ご利用者さま、ご家族さま、そして地域の皆さんにおかれましては平素からのお心遣い、心より感謝申し上げます。

さて、グループホームもくれんも今年で7年目を迎えます。開所当時からご利用して頂いている皆さんにおかれましては、既に6年もの月日をもくれんにてお過ごしになられていることになります。

皆さん、たとえお歳を召されても変わらず「自分ことは出来るだけ自分で」というお気持ちでいらっしゃいます。

そのお気持ちを大切に、私たちに出来ることは

「どうしてもご自分で、し辛くなられた事を  
そっとお手伝いさせて頂くこと」



かと思います。



これから的一年間も、18名の皆さん、どの方も生活スタイルもご性格も異なりますが、誰もが気持ちよく、自分らしく暮らして頂ける様に、心のこもった支援をさせて頂きたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



2020年 元旦

グループホームもくれん 管理者 木村 佳代  
職員 一同

## 介護のよろず相談所もくれん (居宅介護支援事業所) TEL 25-7591

今日のお昼ご飯は何を食べようかな?  
明日は何処にお出掛けしようかな?

いずれ訪れる最期の瞬間を  
どこでどのように迎えようかな…  
それまでどんな過ごし方をしようかな…

人生は大小の意思決定の連続です。

様々なことが起こり得る毎日の中で、限りある時間を  
大切に出来るような意思決定を支援することで、それ  
ぞれに「良い人生だった」と思って頂けるように…

これからも自己研鑽を積み重ね、ご利用して頂く皆  
様のために、チーム一丸となって精一杯の支援をさせ  
て頂きたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



2020年 元旦

管理者 江角 新之介  
金築 洋子  
黒田 宏美

登録定員 25名 通い定員 15名／日 泊まり定員 6名／日

皆さん新年明けましておめでとうございます。

昨年は平成から令和に元号が変わった新しい年の幕開けもありました。

小規模ホームでは昨年から新しい行事に取り組んで参りました。事業計画にも取り上げました地域向けの低栄養改善・食支援への取り組みとして11月に「オトナ食堂」、畠村地区「梅の会」の皆さんにお世話頂きました「かかし作り」など、また一歩地域参加の機会を増やすことが出来たように思います。

毎日の生活の中でも「ご自身で出来る事はご自身で」と実際のご自宅での生活に繋がるような過ごし方をご提案させて頂いたり、より低栄養改善・食支援に力を入れた食事の提供に取り組んだりと、皆さんが一秒でも長くご自宅で自分らしく生活が出来るような支援を心掛けて参りました。

住み慣れた環境のもと年齢を重ねていき、最期まで自分らしく生きる。そのような当たり前の願いを叶えるために、皆さんに何が必要なのか、私たちに何が出来るのか。

小規模多機能型居宅介護の持つ特性を活かした支援が今後も出来るように、職員一同、本年も頑張って参ります。



2020年元旦

小規模ホームもくれん 管理者 小村 巳智子  
職員 一同

## 「タイ王国ラチャブリー県ポータラーム郡」視察研修のご報告

去る2019年11月22日、タイ王国中部ラチャブリー県ポータラーム郡にて日本における介護医療の現状報告と実際の現地の視察にお邪魔させて頂きました。

ポータラーム病院にてこちら側の報告と、この度お世話頂きました特定非営利活動法人 Rehab-Care for ASIA (ReCA) 代表の國谷昇平先生からタイの現状についての報告とグループワークを行いました。その後、フィールドを地域に移し県内に29か所ある「アナマイ（保健所）」の見学と「オーソーモー」と呼ばれる地域の高齢者の方々を支えるボランティアスタッフの皆さんと意見交換を行い、実際に在宅で生活されている高齢者の方々のお



宅へ同行訪問にお邪魔させて頂きました。

そして最後に訪れたのはReCAが自費で運営するデイケアでした。

こちらでは視察と交流に参加させて頂き、その交流の中で弊社ご利用者が作って下さった「しじみのストラップ」を現地ご利用者にプレゼントさせて頂きました。タイの現状としては十分な皆社会保険制度がないまま高齢化社会、超高齢化社会を迎えていきます。

タイのGDPは我が国で  
介護保険制度が始まった  
2000年の約十分の一と言わ  
れています。そのような状  
況の中、タイの高齢者の皆



さんの医療や介護をどのように担保していくのか、そして破綻寸前のわが国の介護保険制度、地域包括ケアシステムで本当に大切なものは何なのか。実はこの二点が非常に酷似しているということを肌で感じさせて頂くなど、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。貴重な機会をありがとうございました。

< もくれん湖陵 諸井 望 >

＜編集後記＞ 先日のバンコクでの視察で出会った「オーソーモー」と呼ばれる地域のボランティアスタッフさんがいらっしゃいます。彼女達にボランティアのやりがいについて尋ねてみると「なぜにそのような事を聞くのですか」と答えられました。続いて「困っている人がいるならば助けるのが当たり前じゃないですか」と答えられました。私たちも「制度」や「サービス」だけにとらわれず、今一度「誰のための」「何のための」私たちか、考えていきたいと心から思いました。本年も皆で頑張って参ります。

((株)もくれん広報委員会)